

【案件概要】

ナカソングラ県ルワビヤタ・シード中学校における女子寮建設計画

1. 計画の概要

被供与団体	ルワビヤタ・シード中学校
供与額	96,059米ドル
署名者	コイレ・ギデオン(校長)
計画名	ナカソングラ県ルワビヤタ・シード中学校における女子寮建設計画
実施地	ナカソングラ県ルワビヤタ準郡(ウガンダ北部)
供与内容	女子寮, トイレ・浴室棟, ソーラー発電システム, 家具(2段ベッド)
贈与契約署名日	2017年3月7日

ウガンダ中央部ナカソングラ県ルワビヤタ準郡は、チョガ湖に面しており、漁村が多く点在しています。漁村は、村人が湖上で仕事・生活をする地理的特性上、警察の目が届きにくく、治安が悪いことなどから、就学期の女子生徒にとっては好ましい環境ではありません。貧しい家庭の女子生徒が、金品目的で性交渉を持ち、結果的に退学するケースもあります。また、伝統的に女子が家族の働き手として仕事に従事することも多いため、授業に出席できない生徒も多くいます。通学・生活の影響を軽減するため、ルワビヤタ・シード中学校は現在上級生の約90人の女子生徒と62人の男子生徒を寮生として受け入れています。中には15kmの道のりを自転車で行く生徒もいます。女子生徒の入寮希望は男子に比べ多く、既に入寮している約90人に加え2・3年生の内124人の女子生徒が入寮を希望しています。本計画では女子寮及びトイレ・浴室棟を建設し、ソーラー発電システム及び家具を整備することで、ルワビヤタ・シード中学校の女子生徒150人の生活環境及び学習環境が大幅に改善されます。

2. 贈与契約署名式

2017年3月7日、在ウガンダ日本国大使館において、中村温臨時代理大使とコイレ・ギデオン校長の間で贈与契約が署名されました。[プレスリリース\(英語\)](#)

